

芸能花伝舎レポート 04

REPORT 01

廃校利用の先進事例として、 様々な方が芸能花伝舎を視察に訪れました。

旧小学校の校舎に耐震補強をし、エアコン設備などを加え、実演芸術団体の稽古場や事務所として利用している芸能花伝舎。新宿区からの貸与を受けて2005年に開場して以来、この利用の実際を視察したいという方々が多数訪れています。行政マンや議員、学校関係者、研究者、学生、記者など。1月には、世田谷区長も視察に訪れました。

様々な団体が長期、短期の稽古場等として活用する中、施設の一部は、新国立劇場の演劇研修所とバレエ研修所としても利用されています。10～20代の研修生が日々レッスンに励んでいる一方、体育館では、1～2カ月単位でオペラやミュージカル等の舞台セットを組んでのプロの舞台稽古が行われます。西新宿という立地のよさ

から利用者の需要が高いという説明も受け、視察に訪れた方々は、まさに創造活動の拠点として運営されている様子に驚かれます。

少子化による学校の統廃合が各地で生じているので、廃校の活用は自治体にとって大事な課題になってきているようです。地域に暮らす人々に愛着のある校舎の活用法は様々あるかと思いますが、芸能花伝舎をモデルとした例もぜひ増えてほしいものです。



芸能花伝舎屋上を見学するアジア諸国からの研修生

REPORT 02

駅やビルのひろば、公園などがパフォーマンス空間に 新宿区のにぎわいづくり「とっておき街角スポットライブ」

芸団協は、平成24年度新宿区協働事業として、駅やビルのひろば、公園など公共的空間を文化芸術の発表の場としての活用を進め

ています。

アンケートや現地調査を経て、4カ所でのPRイベントを行いました。



ビルロビーでのランチタイムコンサートや駅前ひろばでのクリスマスライブ、公園でのダンスワークショップなど。それぞれ場所の特性にあわせたプログラムで、街角の通りすがりに素敵な音楽がきこえてきたり、公園に遊びに行ったら、みんなで身体を思いっきり動かす体験ができました。商店会や町会など地域の皆様との連携のもと、今後も文化芸術の輪を広げていきます。

[左上] 新宿三井ビルロビー(2012年11月29日)

[右上] フラッグビル1Fエントランス

(2012年12月23日)

[左下] 新宿アイランドタワー B1パティオ広場(2月27日)

[右下] 神楽坂・白銀公園(3月10日)

子どもたちに、身近なところで多彩な伝統芸能体験を

伝統芸能の体験とプロによる実演をセットにした催しが実施されました。ひとつは芸団協が2008年から企画・制作運営を行っている「キッズ伝統芸能体験」の一連として行われたもの。もうひとつは、芸団協が構成団体となっている実行委員会と東京都などの主催で、2006年度から都下の文化施設で開催してきた事業です。

「特別版 キッズ伝統芸能体験」

「キッズ伝統芸能体験」は、9月から7カ月にわたって都内8カ所18コースでお稽古が続けられていますが、特別版は1日体験の機会です。日本舞踊、箏曲、三味線、囃子のうちいくつかのジャンルを体験し、プロによる生演奏やお稽古を続けている子どもたちの発表を聞くという盛り山な体験プログラムが、今年は東村山(3月2日)、亀戸(3月3日)、鶴川(3月9日)で開催されました。伝統芸能体験の場を地域の取組みとして定着させていこうという試みでもあり、文化庁支援事業として実施されました。

いつもやんちゃな子どもたちが、例えば日本舞踊体験では、きちんと手をつけて挨拶、きれいな立ち方、座り方を教わります。すり足や扇の使い方も一通りできるようになったら、音楽にあわせて舞っ



箏曲



日本舞踊

てみました。楽器体験コースでは、なかなか音がうまく出ないのですが、先生の助けを借りながら初めてのことに目を輝かせ、一生懸命取り組んでいました。子どもたちのドキドキわくわくもさることながら、見守っている親御さんたちも、和の響きの中で普段と違う芸能体験を楽しんでいたようでした。

「こども芸能体験ひろば in 清瀬」

3月3日には、清瀬けやきホールでも、小学生を対象にした芸能体験プログラムを開催しました。今年は、日本舞踊、三味線、囃子、落語、紙切り。それぞれわかれて体験した後、大ホールで5つのジャンルのプロの実演家たちが次々と登場する舞台を鑑賞するという内容です。ホールでの鑑賞は、親子で、家族で、お友達同士で、日本の文化・芸能にふれるひとときとしてお楽しみいただけただけです。



小鼓



落語

芸団協では、子どもたちが伝統芸能に気軽に触れられる機会をつくるため、さまざまな枠組みで事業を実施していますが、3月末には、今年度の「キッズ伝統芸能体験」事業の総仕上げ、7カ月のお稽古を経ての発表会が、宝生能楽堂(3月20日)、浅草公会堂(27日、28日)で開催されます。お稽古に励んできた子どもたちの、一まわり成長した姿が楽しみです。

沖縄で文化芸術団体支援セミナー

「文化芸術団体の経営力、創造力をつけよう」を開催しました。

芸団協では沖縄県文化振興会の要請を受け、2月16日(土)、17日(日)の2日間にわたり、沖縄県公文書館講堂に於いて標記セミナーを開催しました。

公益社団法人日本舞踊協会や一般社団法人日本クラシック音楽事業協会の協力を得て、業界の構造や制作実務について、具体的な事例紹介をしてもらいました。参加者は、経験豊かな講師の話に熱心に耳を傾け、組織についての講座や全体ディスカッションでも、有意義なやりとりがなされました。今後の沖縄の芸術団体の組織づくりや文化芸術振興について大きな視点で考える機

会になりました。

沖縄県文化振興会は、2013年度も県内の芸術団体を育成するための支援セミナーを検討しており、芸団協もこれまでの調査研究やセミナー事業の経験を活かし、引き続き協力して行く予定です。



ワークショップ「沖縄県における芸術団体の運営を考える」